



## はじめに

近年、地球の温暖化による異常気象や生物種の減少など、地球規模の環境問題や身近な環境問題が深刻化し、その関心が一層高まっています。このような中で、緑はこれらの問題に深く関わっていると同時に、生態系の根幹をなすもので、極めて重要な役割を担っています。

本市では、昭和50年に市民組織による緑化推進団体として「緑化推進協会」が発足し、また、昭和57年には「緑化推進都市」を宣言するなど、緑化思想の普及と自然環境の保全に努めてまいりましたが、今後より一層の緑の保全と創出や緑化を推進する必要があります。

また本市は、豊かな自然と香り高い歴史文化を有するまちで、先人たちが守り築いた自然と文化を、私たちの共有の財産として受け継ぐとともに、さらにそれらを高め、次代に残すことが私たちの責務であります。

そこでこの度、本市の大切な緑の保全や活用、公園の整備、良好な都市環境を創出するための緑化を総合的に進めるための指針として、「足利市緑の基本計画」を策定いたしました。

21世紀は環境の時代といわれ、これまで以上に緑をまちづくりの重要な要素としてとらえ、また、市民との協働のもとで緑豊かな足利市を築いていくことが重要と考えております。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご提言をいただきました策定検討委員の皆様方をはじめ、多くの方々に心からお礼を申し上げます。

平成17年3月

足利市長 吉谷幸夫